

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2003-12562 (P2003-12562A)  
 【公開日】平成 15 年 1 月 15 日 (2003.1.15)  
 【出願番号】特願 2002-106400 (P2002-106400)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/32

// A 6 1 K 31/405

【F I】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 31/405

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 5 日 (2005.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a . 活性成分 / 樹脂複合体 ( 前記活性成分はイオン化可能である ) ; および  
 b . ロードされていないイオン交換樹脂  
 を含む投与フォーム。

【請求項 2】

a . 活性成分 / 樹脂複合体 ( 前記活性成分はイオン化可能である ) ; および  
 b . ロードされていないイオン交換樹脂  
 を含み ;

レジネートにおいて使用されるイオン交換樹脂の架橋度、イオン交換樹脂の架橋度、レジネートの粒子サイズ、イオン交換樹脂の粒子サイズ、レジネートにおいて使用されるイオン交換樹脂の官能基の p K、イオン交換樹脂の官能基の p K、放出メディア中の活性物質の溶解度、放出メディアのイオン強度および p H、活性物質の p K、活性成分の分子量、放出メディアの温度、およびイオン交換樹脂の透過性膜でのコーティング、レジネートの透過性膜でのコーティングからなる群から選択される変量または前記変量の組合せを  
 えることにより、前記活性成分の前記投与フォームから放出メディア中への放出速度および吸収速度が変更され得る投与フォーム。

【請求項 3】

a . 活性成分 / 樹脂複合体 ( 前記活性成分はイオン化可能である ) ; および  
 b . ロードされていないイオン交換樹脂  
 を含み ;

ロードされていない樹脂および / またはレジネートを、放出および吸収が望まれる部位で溶解する非透過性膜でコーティングすることにより、前記投与フォームの放出および吸収が起こる部位が変更され得る投与フォーム。

【請求項 4】

前記活性成分 / 樹脂複合体が、ジクロフェナック / コレスチラミン ; パロキセチン / カルボン酸官能基を有し、重量容量が 0 . 1 ~ 1 4 m e q / g であるアクリルまたはメタク

リル系弱酸性カチオン交換樹脂からなる群から選択され；前記のロードされていない樹脂が、重量容量が  $0.1 \sim 6 \text{ meq/g}$  の第四アミン官能基を有するスチレン系強塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が  $0.1 \sim 8.5 \text{ meq/g}$  の第三アミン官能基を有するスチレン系弱塩基性アニオン交換樹脂、重量容量が  $0.1 \sim 8 \text{ meq/g}$  の第四アミン官能基を有するアクリルまたはメタクリル系強塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が  $0.1 \sim 12 \text{ meq/g}$  である第三アミン官能基を有するアクリル系またはメタクリル系弱塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が  $0.1 \sim 24 \text{ meq/g}$  である第一、第二、または第三アミン官能基を有するアリルおよびビニル系弱塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が  $0.1 \sim 8 \text{ meq/g}$  であるスルホン酸官能基を有するスチレン系強酸性カチオン交換樹脂からなる群から選択される請求項 1 記載の投与フォーム。